

授業科目 基礎理学療法学実習

【担当教員名】 高木昭輝・黒川幸雄		対象学年 2	対象学科 理学
		開講時期 後期	必修・選択 必修
		単位数 2単位	時間数 60時間
<一般目標：G I O> 1. 理学療法を説明できる。 2. 理学療法のリスクを理解することができる。 3. 物理療法を実施できる。			
<行動目標：S B O> 1. 理学療法実施を通して、患者さままた関係者と適切なコミュニケーションを図ることができる。 2. 理学療法における評価と治療決定過程の説明をすることができる。 3. 理学療法における治療の実施とリスク管理、治療方針の修正を行うことができる。 4. 一般的、基礎的レベルで機能障害と姿勢の関連を説明することができる。 5. 物理療法の効果を説明し実施することができる。 6. 物理療法のリスクを管理できる。			
回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法、担当教員
1	授業オリエンテーション・患者・医療関係者とのコミュニケーションの取りかた・相遇	1・2	講義
2	ロールプレイ（お互いに患者対治療者になりあって、互いの立場を確認する。）	1・2	講義
3	理学療法士のための臨床問題解決法（講義）	2・3・4	講義
4	理学療法士のための臨床問題解決法（模擬患者を示し情報を与え問題を抽出させる。）	2・3・4	講義
5	理学療法士のための臨床問題解決法（模擬患者を示し情報を与え問題を抽出させる。）	2・3・4	講義
6	理学療法士のための臨床問題解決法（模擬患者を示し情報を与え問題を抽出させる。）	2・3・4	講義
7	理学療法の実際	3・6	講義・ビデオ
8	理学療法のリスク管理	3・6	講義
9	温熱療法の基礎（全般）、伝導熱（ホットバック、パラフィン浴）講義	5・6	水治療法室
10	温熱療法の基礎（全般）、伝導熱（ホットバック、パラフィン浴）実習	5・6	水治療法室
11	寒冷療法の基礎（全般）、伝導冷却（コールドバック、アイスバック、クリッカー）講義	5・6	講義
12	寒冷療法の基礎（全般）、伝導冷却（コールドバック、アイスバック、クリッカー）実習	5・6	講義
13	マッサージ（講義）	運動療法室	5・6 講義
14	マッサージ（実習）	運動療法室	5・6 講義
15	水治療法の基礎、ハバードタンク・部分浴・寒冷浴・交代講義	水治療法室	5・6 講義
16	水治療法の基礎、ハバードタンク・部分浴・寒冷浴・交代浴実習	水治療法室	5・6 講義
17	牽引療法の基礎・持続的他動運動訓練（CPM）の基礎および実習	5・6	講義
18	牽引療法の基礎・持続的他動運動訓練（CPM）の基礎および実習	5・6	講義
19	電気治療（TES）の総合的説明	5・6	講義
20	電気治療（TES）低周波・中周波治療実習	5・6	講義
21	高周波治療、超音波治療講義	5・6	講義
22	高周波治療、超音波治療実習	5・6	講義
23	FES・TENS・マイクロカレント講義	5・6	講義
24	FES・TENS・マイクロカレント実習	5・6	講義
25	CPM・光線療法講義	5・6	講義
26	CPM・光線療法実習	5・6	講義
27	温泉療法・バイオフィードバック療法・その他、講義	5・6	講義
28	物理療法全般（まとめ）	5・6	講義
29,30	期末テスト	総括的試験	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>
教科書	物理療法学：奈良 勲；医学書院：2003		
参考書	物理療法マニュアル：島田智明著；医歯薬出版(株)2000年 理学療法のための臨床問題解決法：和島英明著；協同医書出版社		
【評価方法】	【履修上の留意点】		
期末試験、授業貢献度、発表などを通して総合的に評価する。	授業に対して受身にならず積極的に参加し、質問してほしい。		

理学療法学科 専門